



鎌倉観光 分析レポート

2026年7月

紫陽花シーズンの賑わいは一段落 鎌倉花火大会で沿岸エリアが活況 P2,3

- ・7/10の鎌倉花火大会当日は主要駅や海岸部で来訪者数が急伸
- ・北鎌倉、長谷は紫陽花シーズン終了で平常化



来訪者数



インバウンド

中国が首位奪還も回復途上 韓国・台湾・香港は好調継続 P4,5

- ・全体は前年比15%減、中国が首位に振り返り
- ・韓国・台湾・香港は6月に続き高水準を維持



観光協会HP

花火大会関連ページに関心が集中 花火のライブ配信にも注目集まる P6

- ・当日に向けて交通規制・有料席案内などのページビューが急拡大
- ・「クルミッ子」が夏季限定商品発売の影響か流入検索の上位に



Googleトレンド

「鎌倉花火大会」がワード上位を席卷 海外からの関心も拡大 P7

- ・国内トレンドは開催日直前・当日の確認検索(時間・中止有無等)が急増
- ・海外客も鎌倉花火大会への関心が高く関連ワードが多数ランクイン



発地・
インバウンド観光予報

インバウンド全体では10月から12月まで過去最高更新の予測 P8

- ・来訪者の発地構成は安定し、県内在住者が7割超を占める
- ・10月以降は東アジア・欧米豪を中心に訪日ラッシュが継続の見込み



鎌倉花火大会 水中花火が夏の海を彩る

第78回鎌倉花火大会が7月10日に開催されました。高波の影響で打ち上げ花火が実施できず水中花火のみとなりましたが、迫力ある水中花火が花開くたびに約17万人の観衆が大きな歓声を上げていました。



本レポートの調査概要（使用データや計測方法など）は、左のQRコードからご確認ください



来訪者数（月次）

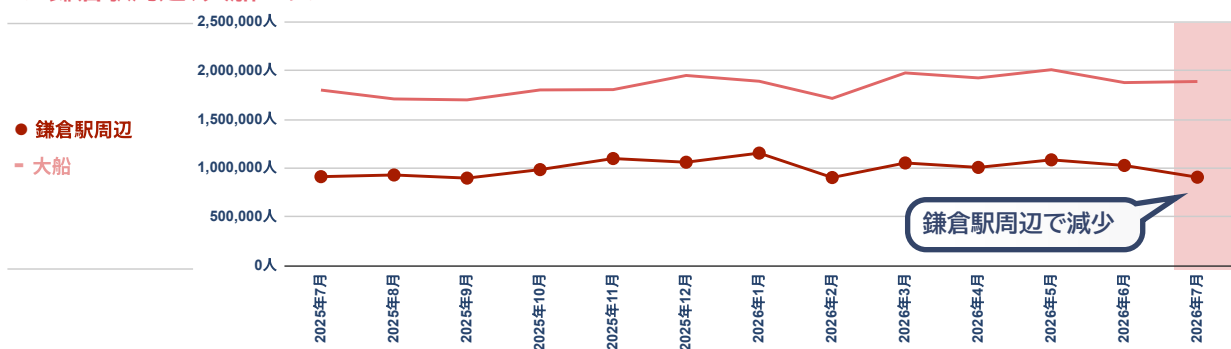
point 紫陽花で来訪者が増加していた北鎌倉・長谷エリアは平常化 海沿いのエリアで来訪者増

▼ 来訪者数を観測した主要10地点の各エリア

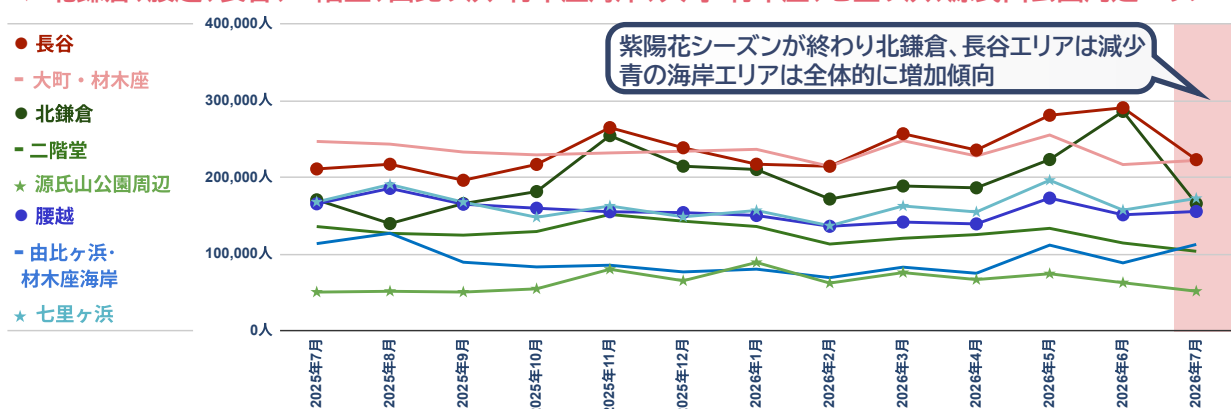


月次来訪者数（主要10地点）

▼ 鎌倉駅周辺、大船エリア



▼ 北鎌倉、腰越、長谷、二階堂、由比ヶ浜・材木座海岸、大町・材木座、七里ヶ浜、源氏山公園周辺エリア





来訪者数（日次、時間ごと）

point

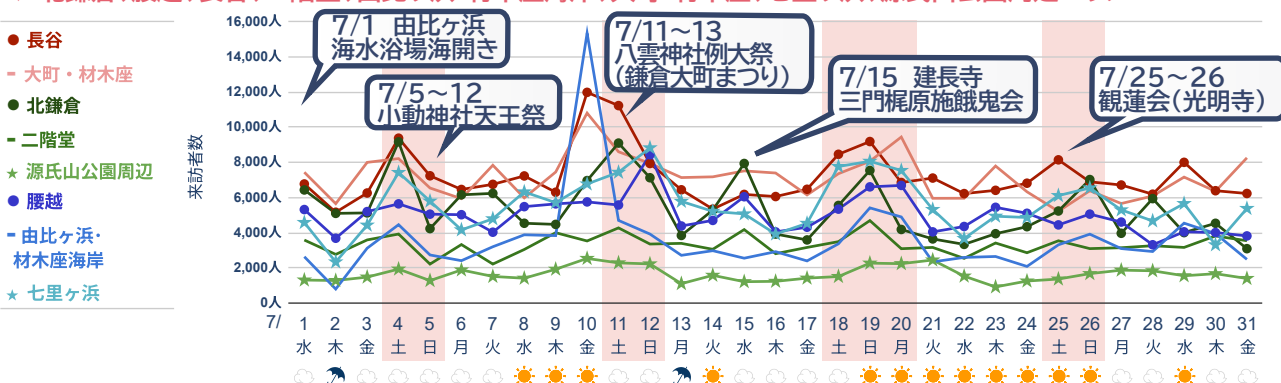
鎌倉花火大会の開催日である7/10には鎌倉、大船などの主要駅や海岸エリアで来訪者が急増

日次来訪者数（主要10地点）

▼ 鎌倉駅周辺、大船エリア

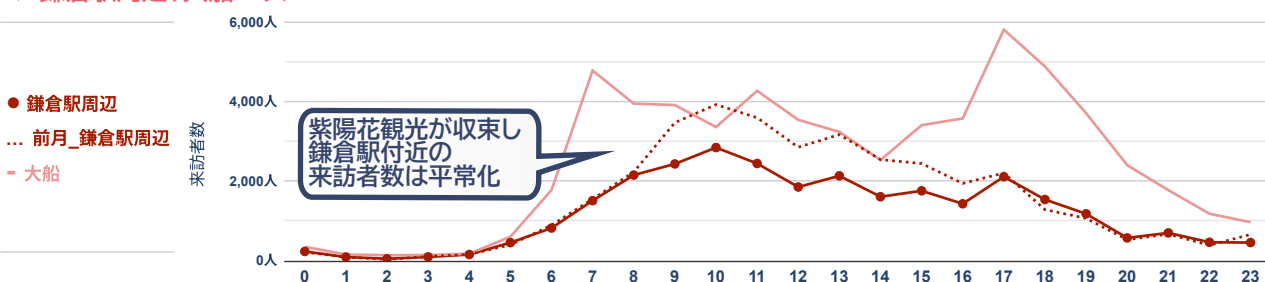


▼ 北鎌倉、腰越、長谷、二階堂、由比ヶ浜・材木座海岸、大町・材木座、七里ヶ浜、源氏山公園周辺エリア

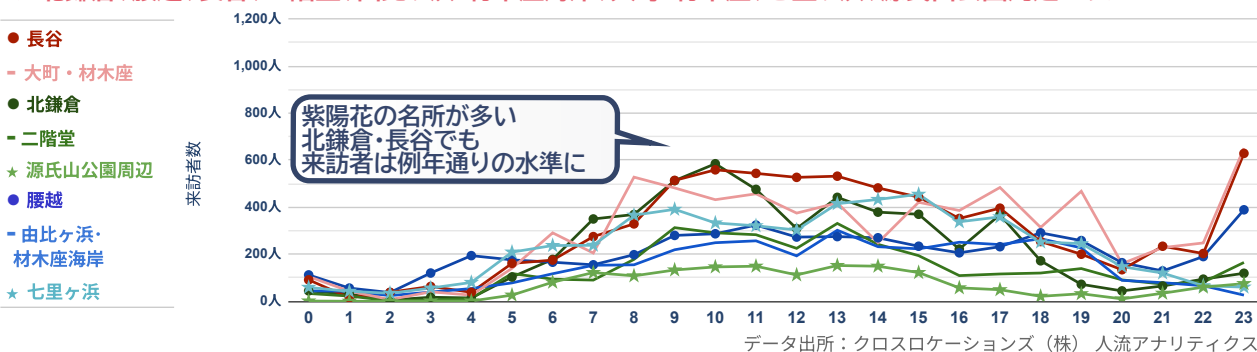


時間ごと来訪者数（主要10地点）

▼ 鎌倉駅周辺、大船エリア



▼ 北鎌倉、腰越、長谷、二階堂、由比ヶ浜・材木座海岸、大町・材木座、七里ヶ浜、源氏山公園周辺エリア



データ出所：クロスロケーションズ（株） 人流アナリティクス



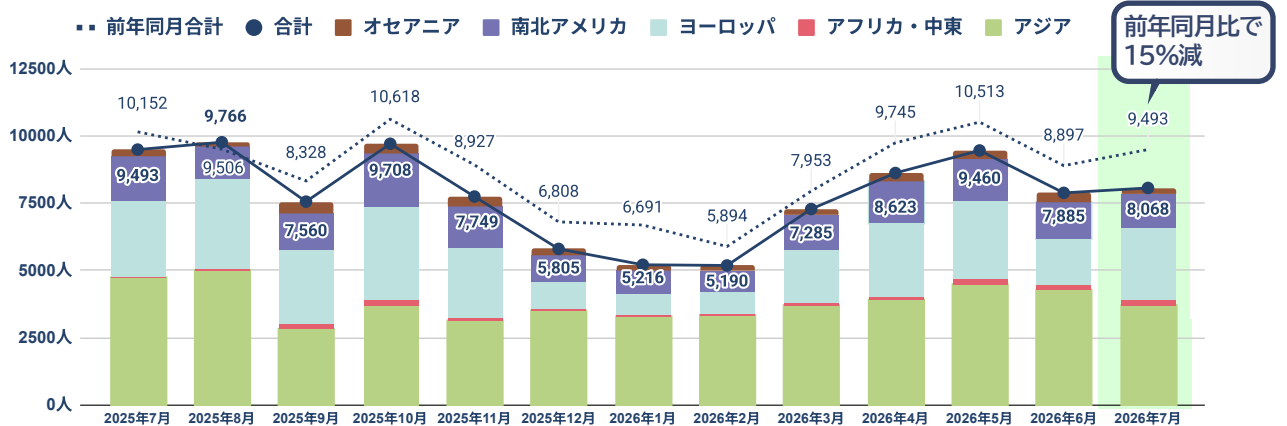
インバウンド

鎌倉観光 分析レポート 2026年7月

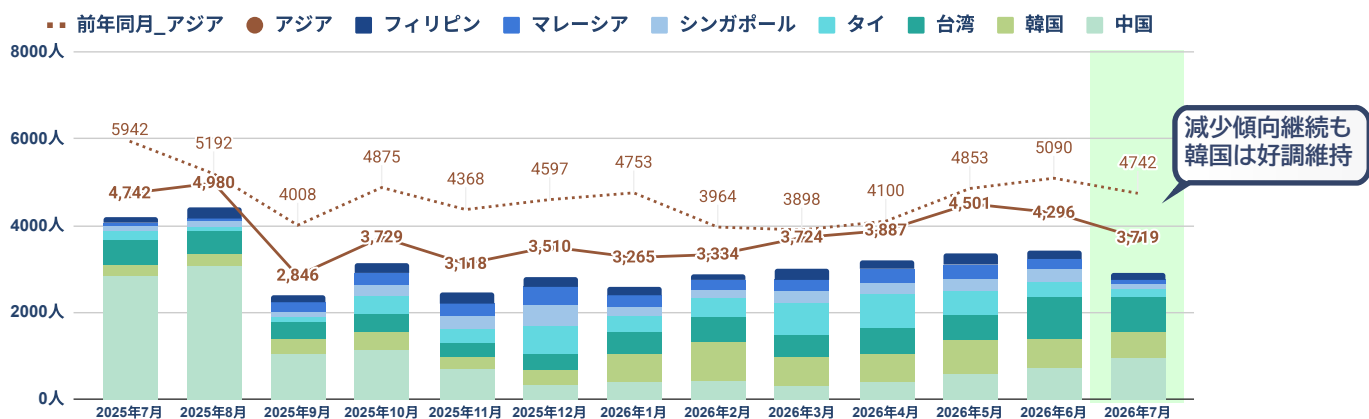
point 全体ではアジア減少の影響で前年比減の傾向続く 欧州はフランスが伸び、前年並みに

外国人観光客の観光案内所利用状況

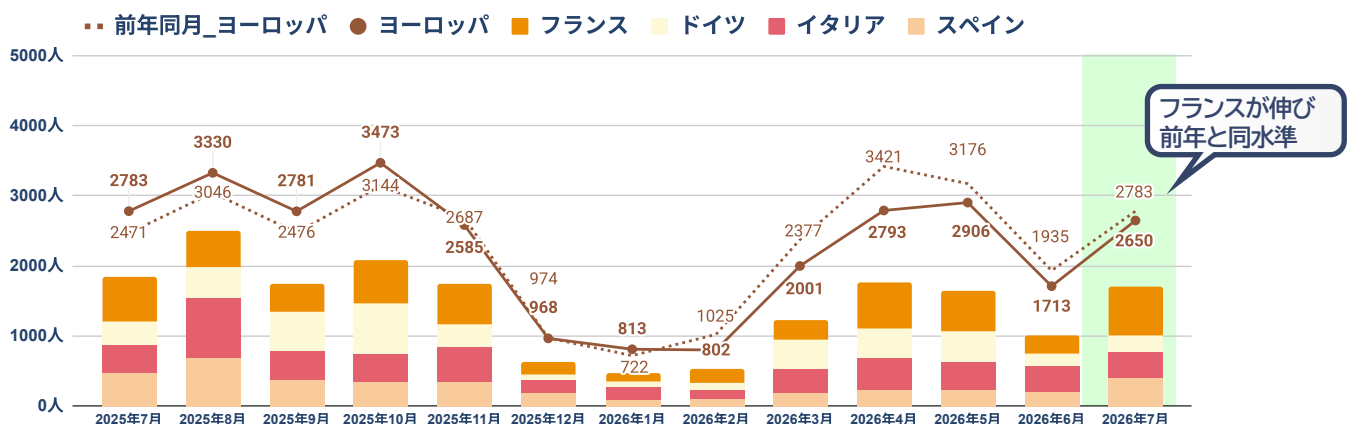
▼ 月次推移（全地域）



▼ 月次推移（アジア全体と中・韓・台・タイ・シンガポール・マレーシア・フィリピン）



▼ 月次推移（ヨーロッパ全体と仏・独・伊・西）



データ出所：鎌倉市観光案内所データ



インバウンド

鎌倉観光 分析レポート 2026年7月

point 中国がトップに戻るも、前年比で33%に留まる 韓国、台湾、香港は6月に続き好調維持

外国人観光客の観光案内所利用状況

▼ 月次国別利用者数TOP10

前月比	順位	鎌倉	全国※	利用者数	比率	前年同月比
▲	1	中国	韓国	937	11.6%	33%
▼	2	米国	台湾	814	10.1%	72%
▼	3	台湾	中国	807	10.0%	140%
▲	4	フランス	米国	694	8.6%	111%
▼	5	韓国	香港	614	7.6%	226%
New!	6	スペイン	カナダ	411	5.1%	89%
▼	7	香港	タイ	402	5.0%	234%
▼	8	イタリア	ベトナム	365	4.5%	91%
New!	9	ドイツ	フランス	240	3.0%	69%
New!	10	カナダ	オーストラリア	215	2.7%	104%

低調継続の中国のほか
米国も前年比減

韓国、台湾、香港は
好調継続

ドイツが
前年比3割減

前年同月比0.1%増となり、7月として過去最高を記録
韓国、インドネシア、メキシコなどで7月として過去最高、
台湾では単月過去最高を記録し、初めて70万人を超えた

▼ <参考> 2026年6月（前月）の国別利用者数

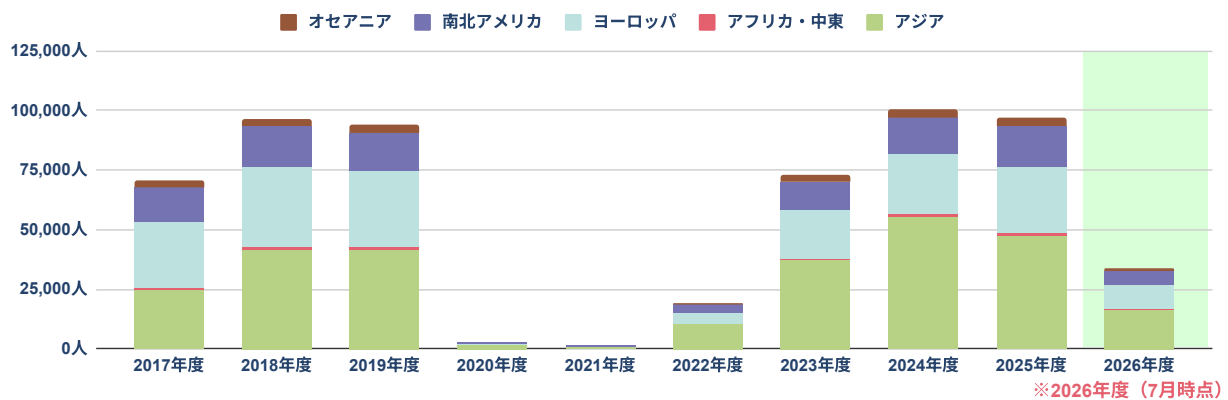
順位	鎌倉	全国※	利用者数	比率
1	米国	韓国	1,047	13.3%
2	台湾	台湾	979	12.4%
3	中国	米国	713	9.0%
4	韓国	中国	679	8.6%
5	香港	香港	434	5.5%
6	イタリア	シンガポール	363	4.6%
7	タイ	オーストラリア	341	4.3%
8	シンガポール	フィリピン	296	3.8%
9	オーストラリア	ベトナム	295	3.7%
10	フランス	インドネシア	260	3.3%

▼ <参考> 2025年7月（昨年）の国別利用者数

順位	鎌倉	全国※	利用者数	比率
1	中国	中国	2,831	29.9%
2	米国	韓国	1,125	11.9%
3	フランス	台湾	626	6.6%
4	台湾	米国	576	6.1%
5	スペイン	香港	464	4.9%
6	イタリア	ベトナム	402	4.2%
7	ドイツ	カナダ	349	3.7%
8	韓国	オーストラリア	272	2.9%
9	オーストラリア	タイ	223	2.4%
10	カナダ	フィリピン	206	2.2%

※ 全国ランキングは、日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計による <https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

▼ 年次利用者総数（全地域）



データ出所：鎌倉市観光案内所データ、日本政府観光局（JNTO）

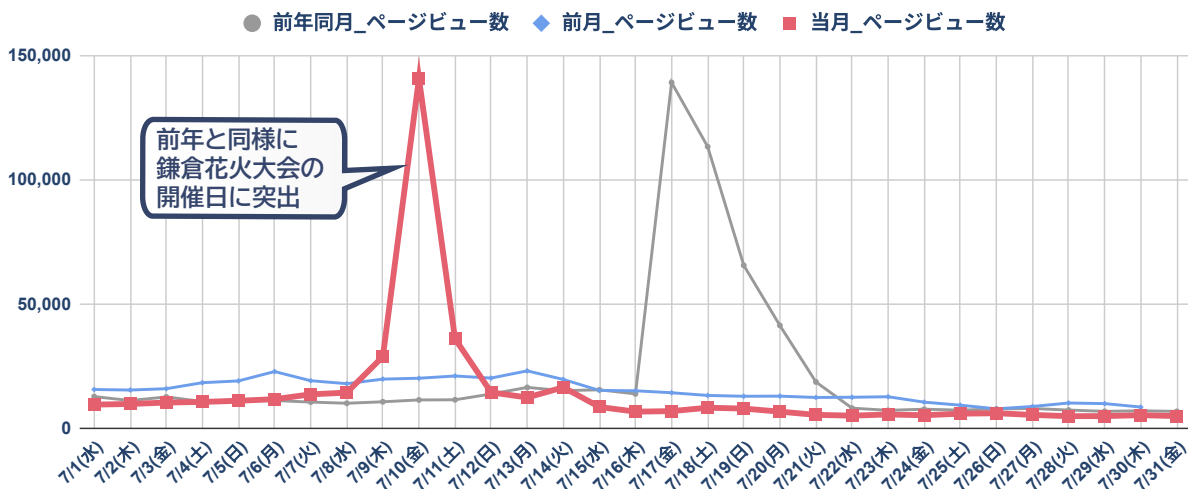


観光協会HP ページビュー

point

例年通り鎌倉花火大会開催の情報にアクセス集中 花火大会のライブ配信にも注目が集まる

日次ページビュー数



観光協会HPで人気のあるページは？

月次ページビューランキング

前月比	順位	ページ名	表示回数
▲	1	【2026年7月】第78回鎌倉花火大会	204,507
▲	2	鎌倉でなにをしよう	69,462
▲	3	鎌倉でなにをしよう - 食べる	21,381
New!	4	第78回鎌倉花火大会開催に伴う交通規制について	18,954
New!	5	【完売御礼】有料席のご案内	17,852
▲	6	祭・イベント一覧	14,260
▼	7	明月院(あじさい寺)	12,202
New!	8	第78回鎌倉花火大会ライブ配信・放送予定	10,172
▼	9	2026年【あじさい情報】鎌倉市内の開花状況について	9,180
▼	10	銭洗弁財天宇賀福神社	9,128

鎌倉花火大会関連のページが4つランクインし
注目の高さがうかがえる

どんなワード検索から流入してきてる？

月次流入検索ワードランキング

前月比	順位	ページ名	表示回数	クリック
New!	1	鎌倉花火大会	168,088	24.18%
▼	2	鎌倉	141,031	3.13%
	3	くるみっこ	109,135	0.33%
▲	4	鶴岡八幡宮	59,805	1.21%
▲	5	鎌倉 観光	50,916	16.90%
New!	6	鎌倉花火大会 2026	44,672	26.18%
New!	7	花火	43,057	0.29%
▲	8	くるみっ子	41,194	0.28%
New!	9	鎌倉殿の13人	40,748	0.26%
▼	10	鎌倉 天気	39,282	0.16%

※「鶴岡八幡宮」には異体字の「宮」の検索を含む

鎌倉花火大会のほか、夏季限定商品
「蜜柑クルミッ子」の影響がクルミッ子も上位に

データ出所：Google トレンド（2026/08/10時点）



鎌倉関連 Googleトレンド

point 鎌倉花火大会が上位独占、海外客からの注目を集める 他、メディア登場店舗も検索増

Google上で最も検索された鎌倉に関するワードは？

月次注目ワードランキング

集計期間： 2026/7/1～2026/7/31

<月次>トレンドランキング2026/7/1～2026/7/31		
順位	トレンドキーワード	スコア
1	鎌倉 花火 大会 今日	急激増加
2	鎌倉 花火 大会 時間	急激増加
3	鎌倉 花火 大会 何時 から	急激増加
4	鎌倉 花火 大会 中止	急激増加
5	nhk 大河 ドラマ 鎌倉 殿 の 13	急激増加
6	鎌倉 学園 甲子園	急激増加
7	鎌倉 学園 野球 部 メンバー	急激増加
8	桐 光 学園 偏差 値	3,450% 増加
9	桐 光 学園	2,400% 増加
10	鎌倉 学園 野球	1,250% 増加
11	鎌倉 天使 の パン ケーキ	1,250% 増加
12	鎌倉 天使 の パン	850% 増加
13	鎌倉 学園 野球 部	850% 増加
14	昼 だけ うなぎ 屋 北 鎌倉 店	500% 増加
15	鎌倉 花火 大会 場所	400% 増加
16	鎌倉 花火	400% 増加
17	鎌倉 花火 大会	400% 増加
18	鎌倉 市 花火 大会	300% 増加
19	ぼんぼり 祭り 鎌倉	300% 増加
20	鎌倉 花火 大会 穴場	300% 増加

7/10開催の第78回鎌倉花火大会開催直前・当日の「今日やるのか」「何時から」という確認検索が急増

20年待ちという超人気パン工房「天使のパン・ケーキ」がテレビ番組「プレバト!」で取り上げられ、話題に

夏の土用の丑の日に、行列・待ち時間の口コミが増加 炎天下1時間半待ちとの声も

海外のトレンドは？

キーワード検索「kamakura」
国別インタレスト

<月次>トレンドランキング2026/7/1～2026/7/31		
順位	国名	人気度※
1	シンガポール	100
2	マレーシア	40
3	香港	34
4	韓国	34
5	オーストラリア	27

Tips

P5「外国人観光客の観光案内所利用状況」に
ランクインしている香港、韓国、オーストラリアの他
シンガポール、マレーシアにおける注目度は継続

※人気度：その国での全検索に占める特定キーワードの
割合を最も高い地域を100として相対的に指数化
※カテゴリー：観光／ランキングから「日本」は除外

※増加率が5,000%を上回っている場合は急激増加と表記

セルフチェックインの無人ホテル
鎌倉花火大会の影響か検索増

キーワード検索「kamakura」
関連キーワードランキング

<月次>トレンドランキング2026/7/1～2026/7/31		
順位	トレンドキーワード	スコア
1	gen hotel kamakura	急激増加
2	omoide yokocho	4,950% 増
3	kamakura kamakura yas queen	550% 増
4	the circus kamakura	300% 増
5	kamakura fireworks	300% 増
6	kamakura fireworks 2026	300% 増
7	kamakura fireworks festival 2026	200% 増
8	map of japan	180% 増
9	kamakura fireworks festival	170% 増
10	plat hostel keikyu kamakura	170% 増

※増加率が5,000%を上回っている場合は急激増加と表記

海外客も鎌倉花火大会の話題に注目



発地・インバウンド観光予報

point 発地は県内7割で安定 インバウンドは10月～12月訪日ラッシュ継続し、過去最高更新の予測

GPS位置情報による来訪者発地分析 どこから来ている？

▼鎌倉来訪者の発地 TOP10(国内)

前月比	順位	地域	発地都道府県	比率
-	1	関東	神奈川県	71.20%
-	2	関東	東京都	14.38%
-	3	関東	埼玉県	3.46%
-	4	関東	千葉県	2.86%
-	5	中部	静岡県	1.14%
-	6	中部	愛知県	0.90%
-	7	関西	大阪府	0.84%
-	8	関東	茨城県	0.51%
▲	9	関西	兵庫県	0.45%
-	10	関東	栃木県	0.35%
▼	11	北海道	北海道	0.33%
▼	12	関東	群馬県	0.28%
▲	13	関西	京都府	0.26%
▲	14	東北	宮城県	0.24%
-	15	中部	新潟県	0.23%
▼	16	九州	福岡県	0.22%
▼	17	中部	山梨県	0.21%
new!	18	中部	岐阜県	0.17%
▼	19	中部	長野県	0.16%
▼	20	中国	広島県	0.15%

関東近県で
9割超
内7割が県内

▼鎌倉来訪者の発地 塗り分けマップ(国内)

来訪者数 0 2,846,299.84



データ出所：クロスロケーションズ（株） 人流アナリティクス
※発地の比率はP2の10エリアの発地別来訪者数の合算値から算出

インバウンド観光予報

全国的な海外旅行客の今後の動向は？

直近3年分のJNTO訪日外客数、今年のも主要国祝祭日のデータを集約・分析

10月



紅葉×連休需要 東アジア・欧米豪が牽引する秋の訪日ラッシュ

2025年10月の過去最高更新（389万人・前年比17.6%増）の勢いが、今年も継続する見込みです。
中国・韓国・台湾の大型連休が東アジア需要を押し上げ、欧米豪・中東でも訪日需要が高まる時期と重なり、紅葉シーズンとの相乗効果が期待されます。

11月



秋が深まり、欧米豪・中東を中心に訪日人気が続く

10月に続き、昨年の過去最高更新（前年比10.4%増）の勢いが継続する見込み。
11月は紅葉シーズンの後半となり、昨年と同様に欧米豪や中東を中心に訪日需要の高まりが期待されます。
米国の感謝祭も訪日需要を後押しします。

12月



クリスマス・ホリデーと雪景色の相乗効果で訪日ラッシュ

11月に続き、欧米豪や東南アジアを中心に高い訪日需要が継続します。
クリスマスや年末年始の長期休暇を利用した訪日客が増加し、ウィンタースポーツや雪景色、温泉といった「日本の冬ならではの体験」への関心が高まる時期です。
11月末の米国の感謝祭から続く旅行需要も、12月前半の訪日を力強く後押しします。

データ出所：鎌倉市観光案内所データ、日本政府観光局（JNTO）
NNA World Calendar（アジア・欧州、主要国の祝祭日）